

作業を通じて工賃(賃金)を得ながら就労に必要な身体機能や技能の維持、向上などを図る福祉施設、就労継続支援B型事業所ももの

## ももの木 オープン

木の開所式が16日、山ノ内町湯河原の旧塩入スポーツの店舗で開かれた。

事業所は、利用者の増加と作業環境の整備を図るため、町地域福祉センター共同作業所内から移設した。定員が増加し、施設の面積も既存の施設より5割ほど広くなるため、快適性の向上が期待される。

開所式には、利用者とその家族など50人が来場し、施設内を見学するなどして開所を祝った。

運営する山ノ内町社会福祉協議会の畔上善治会長は「広くて明るく使いやすい施設になったのも、利用者と家族の皆さんをはじめ支援してくれた人たちのおかげ。利用者のみなさんが働きながら素晴らしい毎日を送って頂けると思う」と話していた。



利用者も交えての開所式